



**EASTS** (Eastern Asia Society  
for Transportation Studies)  
**EASTS-Japan** (アジア交通学会)  
**ご案内**

2017年度版



[www.easts.info](http://www.easts.info)  
[www.easts.info/eastsjapan/](http://www.easts.info/eastsjapan/)

# Eastern Asia Society for Transportation Studies EASTSとアジア交通学会 (EASTS-Japan) のご案内

アジア交通学会 (EASTS-Japan) 会長  
北海商科大学教授  
田村 亨



アジア交通学会 (EASTS-Japan) 事務局長  
東京海洋大学教授  
兵藤 哲朗



## 1. EASTS の役割

EASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) は、アジアの各国/地域における産官学の専門家が交通問題に関する議論、研究、人的交流を広く活性化させることを狙いとして、1994年に設立された学会です。アジア諸国/地域は、世界で最も経済成長が著しく、活発な交通インフラ投資が行われている地域である一方、世界で最も深刻な交通問題に悩む地域でもあります。しかし、多くの国/地域では、今なお、交通の専門家が質・量共に不足し、同種の交通・都市問題を抱えるにも関わらず情報交換が不十分であります。また、それらの専門家は、経済的制約のために先進国の国際会議に参加する機会も少なく、発展途上国特有の問題に対する研究も十分に行われているとは言えません。同様の問題を抱えるアジア地域において、研究、実務の成果の共有化を進めることが必須であります。

このような趣旨に基づき、産官学からの多大な協力を受けて、1994年11月に、EASTSが設立されました。設立以来、22年が経過し、その間、国際会議の出席者数、論文数も増加し、各種活動の質・量共に大幅に拡大しています。

EASTSは、①国際会議を通じた研究者の交流、②ジャーナル・プロシーディングスの刊行、③セミナー、ワークショップの企画実施、④シンポジウムによる社会の啓蒙活動、⑤交通関連国際データベースの構築による情報の共有化、⑥ホームページ、会員メーリングリストによる情報発信や共有化、等を活発に行い、交通問題改善のために、

会員相互の学術の向上と社会への研究成果の還元を目指しています。

日本においては、1995年8月にアジア交通学会 (EASTS-Japan) が設立され、国際会議やシンポジウム等を通じて、アジア地域の交通専門家と活発な情報交換を続けており、その貢献は高く評価されています。

また、アジア交通学会は、途上国の若手研究者の国際会議参加、アジア地域の研究者による国際共同研究等に対して、経済的な支援を行っています (パンフレット最後尾の表-8, 表-9に、役員及び法人会員の一覧を記載しています)。

## 2. EASTS の特徴

- 単なる国際学会にとどまらず、各国/各地域に独自の学会を設立することにより、ネットワークとして機能する組織でもあります。これまでに19の国と地域が参画し(図-1)、会員数は1,600人を超えています(表-1)。また、各支部学会が行う活動に対し、支援や共催の形で協力を行っています。
- 国際会議を隔年で開催し、アジア地域の大学研究者に限らない、役所や実務家も含めた交通専門家同士の活発な学術的交流や情報交換の場を提供しています。
- ピア・レビューを行っている学術論文集 (Journal of EASTS)、及び、講演集 (Proceedings of EASTS)を出版し、さらに学術的に高度な論文はアジア交通研究 (Asian Transport Studies, ATS)として定期オンラインジャーナルを発行するなど、アジアにおける交通問題の解決に寄与する学術の発展に貢献しています。

**オーストラリア**  
National Committee on  
Transport Engineering

**カンボジア**  
Cambodia Society for  
Transportation Studies

**中国**  
Society for Transportation and  
Logistics Studies, CCTA

**香港**  
Hong Kong Society for  
Transportation Studies

**インドネシア**  
Indonesia Transportation Society

**日本**  
EASTS-Japan

**韓国**  
Korean Society of Transportation

**ラオス**  
Lao-EASTS

**マレーシア**  
Transportation Science Society of Malaysia

**モンゴル**  
Mongolian Transport Research Society

**ミャンマー**  
Committee on Myanmar Transportation Studies

**ネパール**  
Society of Transport Engineers, Nepal

**ニュージーランド**  
EASTS New Zealand

**フィリピン**  
Transportation Science Society of the Philippines

**シンガポール**  
Centre for Transportation Research/  
Institute of Engineers Singapore

**スリランカ**  
Sri Lanka Society for Transport & Logistics

**台湾**  
Chinese Institute of Transportation

**タイ**  
Thai Society for Transportation and Traffic Studies

**ベトナム**  
Transportation Studies Society of Vietnam



図－1 EASTSを構成する各学会（英語国名・地域名のアルファベット順）

表－1 EASTS会員数（2015年9月現在）

国／地域	会員数		合計
	正会員	学生会員	
オーストラリア	46	0	46
カンボジア	17	6	23
中国	107	17	124
香港	11	4	15
インドネシア	121	1	122
日本	406	86	492
韓国	113	24	137
ラオス	21	0	21
マレーシア	10	8	18
モンゴル	17	1	18
ミャンマー	23	0	23
ネパール	31	1	32
ニュージーランド	16	0	16
フィリピン	60	56	116
シンガポール	8	2	10
スリランカ*	22	0	22
台湾	133	14	147
タイ	50	45	95
ベトナム	68	14	82
個人会員**	58	---	58
合計	1,338	179	1,617

\*スリランカ加盟の正式承認は2016年

\*\*EASTS加盟国以外の会員

- 国際的な研究グループの設立を支援し、一部の優れたグループに対しては研究費の助成を行っています。
- 将来、交通・都市計画の専門家となるであろう途上国の若手研究者に対し、国際会議参加時の渡航費や滞在費の補助を行っています。

表－2 EASTS役員一覧（2017年4月現在）

役職等	氏名	所属等
会長	屋井 鉄雄	東京工業大学 教授
第1副会長	Pichai Taneerananon	プリンスオブソクラ大学 教授(タイ)
第2副会長	Tran Tuan HIEP	ハノイ交通運輸大学(ベトナム)
事務局長	岡本 直久	筑波大学 教授
財務担当	兵藤 哲朗	東京海洋大学 教授
<b>国際学術委員会</b>		
委員長	Jaehak OH	韓国交通研究院（韓国）
<b>国際会議運営委員会（2017年ホーチミン大会）</b>		
委員長	Tran Tuan HIEP	前掲
<b>歴代会長</b>		
1994～1997年	中村 英夫	東京大学 名誉教授
1997～2003年	Primitivo C. Cal	フィリピン大学 教授
2003～2007年	森地 茂	政策研究大学院大学 教授
2007～2011年	Kyung Soo Chon	ソウル国立大学 教授
2011～2015年	Cheng-Min Feng	国立交通大学 教授(台湾)

### 3. EASTSの運営

EASTSの運営は、会長、副会長、事務局長、財務担当、及び、各国代表者によって構成される理事会で重要案件が審議され、審議事項の具体化が活発に行われています(表－2)。特に、EASTSの最も重要かつ大きなイベントである国際会議に関して、学術論文の募集及び審査

表-3 過去の国際会議一覧(最近5会議分)

会議／開催日	開催地	テーマ	論文数 (アカデミック/ プラクティカル)	参加者数
第11回 セブ会議 2015年9月9日～12日	Radisson Blu Hotel Cebu, Cebu, Philippines	Resilient and Inclusive Transportation Systems through Smarter Mobility	475 (377/98)	541
第10回 台北会議 2013年9月9日～12日	Chang Yung-Fa Foundation Building, Taipei, Taiwan	Towards A Harmonized Transportation Society	500 (401/99)	892
第9回 済州会議 2011年6月20日～23日	ICC JEJU, Jeju, Korea	Green Growth and Transport	425	663
第8回 スラバヤ会議 2009年11月16日～19日	Shangri-la Hotel in Surabaya, Indonesia	Enhancing Transportation Infrastructure and Services in Rapid Regional Growth	535	648
第7回 大連会議 2007年9月24日～27日	Dalian Maritime University, Dalian	Towards Integrated Transportation for Rising Asia	509 (405/104)	779



写真-1 パネルディスカッション



写真-2 オーラルセッション



写真-3 ポスターセッション

は国際学術委員会が、会議の運営は国際会議運営委員会が中心となって行います。国際会議は隔年で実施され、現在までに11回の会議が行われています。また、中間年には、理事会を開催しています。

#### 4. EASTSの主な活動

##### (1) 国際会議

EASTSの国際会議は、1995年の第1回マニラ会議(フィリピン)を皮切りに、第2回ソウル会議(韓国)、第3回台北会議(台湾)、第4回ハノイ会議(ベトナム)、第5回福岡会議(日本)をはじめ、これまでに11の会議が開催されています(表-3)。**2017年9月18日～21日には、第12回会議をホーチミン(ベトナム)において実施する予定です。** 会議における発表論文数は着実に増加しており、アジア諸国からのEASTSに対する関心の高まりを示す結果であります。学術論文発表以外にも、国際共同研究の成果や特定課題の集中議論を目的としたスペシャルセッション、広くアジア地域において課題となるような問題をテーマとしたパネルディスカッションも開催しています(写真-1, 2, 3, 台北会議の様子)。

##### (2) ジャーナル等の刊行

EASTSが発行する主な出版物には、国際会議

の成果を収めたものとして、特に選ばれた論文を掲載するアジア交通研究(ATIS: Asian Transport Studies)と学術論文集(Journal of EASTS)、講演集(Proceedings of EASTS)があります。また、学会ホームページを通じて、情報を発信しています。

学術論文集、講演集は国際会議毎に発行され、またアジア交通研究(ATIS)は定期オンラインジャーナルとして発行され、いずれも、複数の査読者三名による審査を通過した論文のみが掲載される学術誌です。従前は印刷物を配付していましたが、出版物のオンライン化を進めた結果、いずれの出版物についても、どなたでも学会ホームページで内容を閲覧することができるようになりました。

最新の第11回セブ会議のトピックは表-4の通りであり、内容は極めて多岐に渡ります。このことは、東アジアにおける交通問題が極めて多様であり、交通研究者がそれに対して共通認識を有していることを示唆するものです。また、第3回国際会議以降、最優秀論文賞、優秀論文賞を授与しています。

##### (3) 情報発信

EASTSでは、全ての情報発信をインターネットにより行っています。学会ホームページでは、

表-4 セブ大会(2015)における研究トピック

トピック/セッション名	
• 交通一般	交通計画, データ収集
• 交通の経済と政策	交通管理, プライシング, 事業の資金調達, 事業評価, 交通需要管理政策, ITS政策, 交通政策
• 交通需要の分析と予測	交通選択モデル, 車両保有分析, 都市空間における交通行動, 交通モード選択モデリング, 交通需要予測, アクティビティ分析, ネットワーク分析
• 物流と貨物輸送	物流と貨物輸送政策, 都市内物流, 物流ビジネスにおける運営と管理
• 地域の計画と環境	パーソナルモビリティ, アジアの都市における安全でグリーンな都市内回廊, 観光, 都市交通, 土地利用, QOLと交通, 大気汚染, 排出, 車両のイノベーション
• 公共交通とノンモータライズド交通	自転車, パラトランジット, 公共交通, 公共交通のサービス分析, バス計画, バス高速輸送システム(BRT), 交通アクセスとターミナル, 歩行者, 大量輸送機関と鉄道
• 高速道路のデザインと維持管理	高速道路, 舗装
• 道路交通工学	道路ネットワーク災害, 災害, 避難, 交通シミュレーション, モデリング, 交通流, 自動二輪, ITS, 交差点, 自転車と自動二輪
• 交通事故と交通安全	交通事故防止, 交通事故のリスク分析, アジアにおける交通事故対策, 交通安全, 運転行動
• 航空と水上交通	港湾の計画と工学・管理, 空港の計画と工学・管理, 航空と水上交通の政策, 航空と水上交通の運営と管理
• その他	

規約, 出版物, EASTSの組織構成, 各種イベント(国際会議開催の案内, 代表者会議の報告, 各国国内学会の活動報告, シンポジウム, 交通関連のニュース記事等), 入会方法, 研究支援等に関する情報を掲載しています。

また, 正会員をはじめ, 希望者を対象とした電子メーリングリストを用いて, EASTSの活動のみならず, アジアにおける交通関連の諸情報をいち早く配信しています。

#### (4)国際共同研究の推進

EASTSは, 複数の国や地域の研究者が国際研究グループを組織して行う研究のうち, より優れた研究成果が期待できるテーマに対して, 研究費支援(ICRA: International Cooperative Research Activity)を行っています。2001年より実施しており, 既に14の研究テーマにおいてICRAによる国際共同研究が実施されています。

最近の採択テーマは, 表-5に示すとおりです。また, 国際的な連携を図り, EASTSにおける研究活動の活性化を目的として, 2005年より幾つかの国際研究グループによる研究プロジェクト(IRG: International Research Group)の採択を開始しました。現在, 表-6に示す8つの研究プロジェクトが進行中です。IRGに承認された研究プロジェクトには, EASTSの国際会議においてスペシャルセッション実施の優先権が与えられ, 研究費支援(ICRA)に応募する資格を得られる等のメリットがあります。

#### (5)シンポジウム/セミナー

EASTSの日本支部であるアジア交通学会(EASTS-Japan)は, 関連組織との共催により, シンポジウムやセミナーを定期的開催しています(表-7)。2004年10月には, EASTS創立10周年を記念したシンポジウムを東京で開催し, 国内外から数多くの方にご出席頂きました。

### 5. 入会・出版物のご案内

#### (1)入会のご案内

本学会にご興味を持たれた方は, 是非, EASTSホームページ, 及び, EASTS-Japanホームページをご覧ください。日本在住の方は, 日本人, 外国人を問わず, EASTS-Japanの会員となることにより, EASTSに関する次のような特典を享受することができます。

- 正会員, 学生会員, 名誉会員は, EASTS国際会議の参加登録料の割引を受けることができます。また, 本会の主催する研究会・講演会等に無料で参加できます。
- 法人会員は, 1口当たり2名が, EASTS国際会議の参加登録料割引を受けることができ, 本会の主催する研究会・講演会等には無料で参加できます。また, 国際会議開催時には, 会議論文集が1部配布されます。

また, 年会費は,

- 正会員: 4,000円/2年
- 学生会員: 2,000円/2年
- 法人会員: 1口10万円/年

となっています。入会をご希望される方は, 入会申込書をご記入頂いた上で, EASTS-Japan事務局までE-mailまたはFaxでお知らせ下さい。

#### (2)ジャーナル販売のご案内

アジア交通研究(ATS), 過去の国際学会の学術論文集及び講演集に収められた論文等は, すべてオンラインでアクセス可能です。また, EASTSに関連するその他の出版物の情報についてもご覧いただけます。URLは次の通りです。  
www.easts.info/publications/publications.html

表－5 ICRA採択研究プロジェクト(最近の採択テーマ)

期 間	研 究 題 目	代 表 者 名 (所 属)
2015-2017(ICRA-A)	IRG-22-2013: Integrated sign systems for non-motorized transport and transit users	Dr. Hiroshi Tsukaguchi (Ritsumeikan University, Japan)
2014-2016(ICRA-A)	IRG-21-2013: Comparative Study on Quality Management for Public Transport Systems in Asian Cities (QM4PTA)	Dr. Vu Anh Tuan (Vietnamese-German University, Vietnam)

表－6 IRG採択研究プロジェクト(2017年4月現在活動中のもの)

IRG番号	研 究 題 目	代 表 者 名 (所 属)
IRG-29-2016	Gender and Transport Nexus: Achieving A More Equitable and Inclusive Society	Dr Iderlina Mateo-Babiano, The University of Queensland, Australia
IRG-28-2015	Motorcycle, motor scooter, motorbike ownership and use in South East Asia city	Dr. Chu Cong Minh, University of Communication and Transport, Ha Noi, Vietnam
IRG-27-2014	Research on Promoting Sustainable Rural Area Development through Roadside Station	Dr. Asralt Buyantsogt, Mongolian University of Science and Technology
IRG-26-2014	Institutions for Railway Development in Asian Cities (IRDAC)	Dr. Shigeru Morichi, National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS)
IRG-25-2013	Mobile Millennium Asia: Mobile Productivity and Utility Tools for Inclusive Urban Mobility	Dr. Francis Aldrine A. Uy, Mapua Institute of Technology, Philippines
IRG-24-2013	Viability of Public Transport Harmonizing System with Para-Transit Modes	Dr. Tetsuo YAI, Tokyo Institute of Technology, Japan
IRG-23-2013	International Comparative Research on Value of Travel Time in Asia	Dr. Hironori Kato, The University of Tokyo, Japan
IRG-22-2013	Integrated sign systems for non-motorized transport and transit users	Dr. Hiroshi Tsukaguchi, Ritsumeikan University, Japan
IRG-21-2013	Comparative Study on Quality Management for Public Transport Systems in Asian Cities (QM4PTA)	Dr. Vu Anh Tuan, Vietnamese-German University, Vietnam
IRG-18-2012	Strategies for a Sustainable Transportation Path for Small- and Medium-sized Cities in East Asia	Dr. Alexis M. FILLONE, De La Salle University-Manila
IRG-17-2011	Logistics in Asia: Interdependent Supply Chain and Advancement of Intelligent Management	Dr. Tetsuro Hyodo, Tokyo University of Marine Science and Technology

表－7 EASTSシンポジウム／アジア交通学会セミナー(最近の開催分)

EASTSシンポジウム名称	開催日時・場所	主催・共催 等
EASTS, EASTS-Japan設立20周年記念 シンポジウム アジアの交通の未来	2014年10月24日(金), 9:00-17:35 芝浦工業大学豊洲キャンパス交流棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>EASTS, アジア交通学会(主催)</li> <li>国土交通省, 東京都, 土木学会, 日本交通学会, 運輸政策研究機構, 計画・交通研究会(後援)</li> <li>東日本旅客鉄道株式会社, 東京地下鉄株式会社(協賛)</li> </ul>
アジアにおける新幹線と駅周辺の都市開発 －国際比較研究－	2014年7月4日(金), 13:30～17:00 政策研究大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策研究大学院大学(主催)</li> <li>EASTS(共催)</li> <li>(一財)運輸政策研究機構(後援)</li> </ul>
アジア交通学会セミナー名称	開催日時・場所	主催・共催 等
2017年度第1回EASTS-Japanセミナー Integration of Active Mobility and Public Transport in Taipei 講師: 国立台湾大学 Jason Chang教授	2017年4月5日(水), 17:00-18:30, 東京工業大学 蔵前会館3F 手島精一記念会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>EASTS-Japan(主催)</li> </ul>
EASTS-Japanセミナー兼2016年第18回土木計画学国際セミナー Developing High-Speed Rail Hubs with Metro Extensions and Land Leases: Evidence from Wuhan, China	2016年12月13日(火), 18:30-19:00, 東京大学本郷キャンパス工学部11号館	<ul style="list-style-type: none"> <li>EASTS-Japan(共催)</li> <li>土木計画学研究委員会(共催)</li> </ul>
EASTS-Japanセミナー兼2016年第8回土木計画学国際セミナー Freight data collection and sensing: some research prospects	2016年8月25日(火), 17:30-19:00, 東京大学本郷キャンパス工学部11号館	<ul style="list-style-type: none"> <li>EASTS-Japan(共催)</li> <li>土木計画学研究委員会(共催)</li> </ul>
EASTS-Japan・JICA共催セミナー土木計画学研究委員会 第79回ワンデイセミナー Seminar on Transportation in Developing Countries	2016年6月13日(月), 13:00-17:00, JICA市ヶ谷ビル	<ul style="list-style-type: none"> <li>EASTS-Japan(共催)</li> <li>JICA(共催)</li> <li>土木計画学研究委員会(共催)</li> </ul>

表-8 アジア交通学会(EASTS-Japan)役員一覧(各役職50音順, 2016年7月現在)

役職	氏名	所属等
会長	田村 亨	北海商科大学教授
副会長	山内 弘隆	一橋大学教授
理事	朝倉 康夫	東京工業大学教授
同	家田 仁	政策研究大学院大学教授
同	石田 東生	筑波大学特命教授
同	伊東 誠	(一財)運輸総合研究所 主席研究員
同	稲村 肇	政策研究大学院大学客員教授
同	岩田 鎮夫	(株)アルメックVPI取締役
同	岡本 直久	筑波大学教授
同	加藤 一誠	慶應義塾大学教授
同	谷口 栄一	京都大学名誉教授
同	林 良嗣	中部大学教授

役職	氏名	所属等
同*	兵藤 哲朗	東京海洋大学教授
同	福田 敦	日本大学教授
同	藤原 章正	広島大学教授
同	溝上 章志	熊本大学教授
同	宮本 和明	東京都市大学教授
同	森地 茂	政策研究大学院大学 政策研究センター所長
同	屋井 鉄雄	東京工業大学教授
同	山川 朝生	日本工営(株)取締役副社長
監事	遠藤 玲	芝浦工業大学教授
同	富田 英治	(一財)国際臨海開発研究セン ター理事長
同	根本 敏則	敬愛大学教授

\*兵藤理事は事務局長兼任

表-9 アジア交通学会(EASTS-Japan)法人会員, 法人賛助会員一覧  
(左から下へ, 英語法人名のアルファベット順)

法人会員(2017年4月現在)		
(株)アルメックVPI	(公社)日本道路協会	清水建設(株)
中日本高速道路(株)	(一社)日本道路建設業協会	(株)スマートインフラ総合研究所
(一財)沿岸技術研究センター	(一社)海外運輸協力協会	大成建設(株)
社会システム(株)	(一財)運輸総合研究所	(一社)日本民営鉄道協会
(株)建設技術研究所	(公社)日本交通計画協会	(一財)計量計画研究所
東日本旅客鉄道(株)	鹿島建設(株)	(一社)建設コンサルタンツ協会
(株)エイト日本技術開発	首都高速道路(株)	(一財)国際臨海開発研究センター
(公財)高速道路調査会	三菱重工業(株)	(公社)日本港湾協会
阪神高速道路(株)	(株)三菱総合研究所	東京地下鉄(株)
(一財)運輸調査局	成田国際空港(株)	東京モノレール(株)
(一財)国土技術研究センター	日本工営(株)	東京急行電鉄(株)
日本コンサルタンツ(株)	小田急電鉄(株)	(株)東芝
(独)国際協力機構	(株)オリエンタルコンサルタンツ	(一財)みなと総合研究財団
(一社)海外鉄道技術協力協会	(公財)鉄道総合技術研究所	八千代エンジニアリング(株)
法人賛助会員(2017年4月現在)		
(一財)空港環境整備協会	(一社)交通工学研究会	

■ 次回国際会議: EASTSホーチミン会議  
2017年9月18日~21日 ベトナム, ホーチミン市

※最新情報は学会ホームページをご確認ください

アジア交通学会 (EASTS-Japan) 事務局 お問い合わせ先  
〒100-6005  
東京都千代田区霞が関3-2-5  
霞が関ビル5F-28

Tel: 03-4334-8157

Fax: 03-4334-8158

Email: [easts@easts.info](mailto:easts@easts.info)

Website: [www.easts.info/eastsjapan/](http://www.easts.info/eastsjapan/)

2017年4月発行